

千葉大学病院にて卵巣癌の治療された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年1月16日

婦人科

婦人科では、静脈血栓のある卵巣癌患者に対するベバシズマブ投与の安全性に関する研究に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2014年1月1日～2020年12月31日の間に卵巣癌と診断され、はじめての抗癌薬にベバシズマブが含まれていた方

1. 研究課題名

「静脈血栓のある卵巣癌患者に対するベバシズマブ投与の安全性についての検討」

2. 研究期間

2023年承認日～2025年3月31日

この研究は、附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究は、静脈血栓がある卵巣癌の患者様にベバシズマブが安全に投与できるか検討することを目的としています。

2014年1月1日から2020年12月31日の間に当院で治療を行った、Ⅲ、Ⅳ期の静脈血栓がある卵巣癌患者さんの診療情報を使用して、研究を行います。研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換えたデータを解析します。氏名等と研究IDの対応表は、当施設において担当者が責任をもって保管・管理し、外部には送付しません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている年齢、性別、ECOG PS、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往

歴、併用薬、家族歴、生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果、がん原発部位、組織型、ステージ、診療経過

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：婦人科 准教授 碓井宏和

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学教室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL:<https://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院婦人科

医師 碓井 宏和

043(222)7171 内線5314